

けんりようご

権 利 擁 護 ガイ ド ラ イ ン

はじめに

りようしゃけんりようご

えん せいかつ

この「利用者権利擁護ガイドライン」には、〇〇園で生活する

けんり

みなさんの「権利」についてかかれています。

けんり

かんが

しゅちょう

いけん い

みなさんが、「権利」について 考 え、主 張 し、意見を言うこ

たいせつ

とは大切なことです。

けんり

えん

でも、「権利」は、ひとりだけのものではありません。〇〇園で

なかま

せいかつ

えん

はたくさんの仲間がいっしょに生活しています。みなさんが〇〇園

せいかつ

せいかつ

でたのしく生活していくためには、いっしょに生活するひとりひ

けんり

とりの「権利」がたいせつにされなければなりません。

せいかつじょう

やくそくごと

くふう

そのために、生活上のルールや約束事などいろいろな工夫を

かてい しゃかい

おな

ほうりつ

しています。そのことは家庭や社会でも同じで、法律やルール、

たいせつ

マナーなどが大切にされています。

かんが せいかつ じぶんじしん
みなさんがそういったことを 考 えながら 生 活 し、自分自身の
けんり まも わたしたちしょくいん おうえん
「権利」を守っていくことを、私たち 職 員 はできるかぎり 応 援
します。

りようしゃけんりようご
この「利用者権利擁護ガイドライン」について、わからないこと
しょくいん ぎもん こた
があったら、職 員 にきいてください。あなたの疑問にお 答 えしま
す。

こじん さんげん
1 個人の尊 厳

にんげん じゅう びょうどう
ひとりの人 間 として、自由と 平 等 のもと、ばかにされたり、
さべつ おおごえ めいれい
差別されたり、どなられたり、大 声 で命 令 されたり、たたかれた
い けんり も
りせずに、生きる権利をみんな持っています。

ほ ご
2 プライバシーの保護

じかん せいかつ まも
ひとりの時間や 生 活 を守 ることができます。
し き しら ことわ
知られたくないことを、聞かれたり 調 べられようとしたら、断 る
けんり
権利があります。

じ こ け っ て い け ん

3 自 己 決 定 権

じぶん じぶん き

自分のことは自分で決められます。

じぶん い し い たいせつ

「いやなものはいや」と自分の意志をはっきり言うことも大切です。

じぶん き ばあい そうだん じょうほう

自分で決められない場合、いろいろ相談したり、情報をきく

ことができます。

ざいさんけん

4 財 産 権

じぶん かね じぶん つか みち き じぶん かね

自分のお金は、自分で使い道を決められます。自分でお金を

かんり しせつ しせついがい ひと たの

管理できないときは、施設や施設以外の人に頼むこともできます。

かぐ いるい も もの じぶん かんり たにん かつて

家具や衣類などの持ち物も、自分で管理できます。他人が勝手に
つか

使ったりすることはできません。

しみんけん

5 市 民 権

ちいき りよう かつどう さんか

地域のいろいろなサービスを利用したり、活動に参加することが

せんきょ さんか

できます。選挙に参加できます。

ふふく もう た

6 不 服 の 申 し 立 て

いけん しょくいん

はな

いやなこと・こまったこと・意見を職員やオンブズマンに話し、
かいけつ はな あもと
解決にむけての話し合いを求めることができます。

7 そのほかのこと

いじょう

ほか

ぐたいてき

まいにち

せいかつ

こま

以上のことその他、具体的な毎日の生活についての細かいこ

べつ

しょくいんりんりきてい

さだ

とは、別に「職員倫理規程」「サービスガイドライン」に定め

ぜひ

よ

ています。是非、読んでみてください。